

3.4.4 2005年冬季(2~3月)分析結果

結果は、以下の表及び図としてまとめた。なお、値はすべてヒ素換算値とした。

表 3.4.6 2005年冬季(2~3月)地下水分析結果一覧表

図 3.4.7 2005年冬季(2~3月)ABトラック地下水 DPAA 汚染状況図

図 3.4.8 2005年冬季(2~3月)A井戸周辺地下水 DPAA 汚染状況図

図 3.4.9 2005年冬季(2~3月)B地区地下水 DPAA 汚染状況図

1) A井戸周辺

A井戸直近では、2004秋季測定に引続き、A井戸の南西と南東の2箇所が高濃度汚染が認められる。

A井戸の南西部分のNo.37は、濃度が低下している一方で、南東部分のNo.13、37、72では濃度が上昇している。

グラント北西角(No.27、155)は、濃度が低下している。

また、A井戸の南東部を除いては、全体に濃度が低下する傾向にある。

2) B地区

2004秋季測定に引続き、B地区中心付近のNo.163孔の深度29mで0.47mg-As/Lの汚染が認められ、周辺に向かって薄くなる傾向がある。

3) AB間

2004秋季測定に引続き、No.174、55、194、178、177、56で非常に薄い汚染が確認されている。

4) ABトラック外周

17孔のモニタリング孔のうち、南西端に位置するM-3孔において、非常に低濃度(深度10mで0.015mg-As/L、深度20mで0.027mg-As/L、深度30mで0.026mg-As/L)のジフェニルアルシン酸(DPAA)を検出した。それ以外の16孔では検出されなかった。

図3.4.8 2005年冬季(2~3月)A井戸周辺地下水DPAA汚染状況図

単位: $\mu\text{g-As/L}$

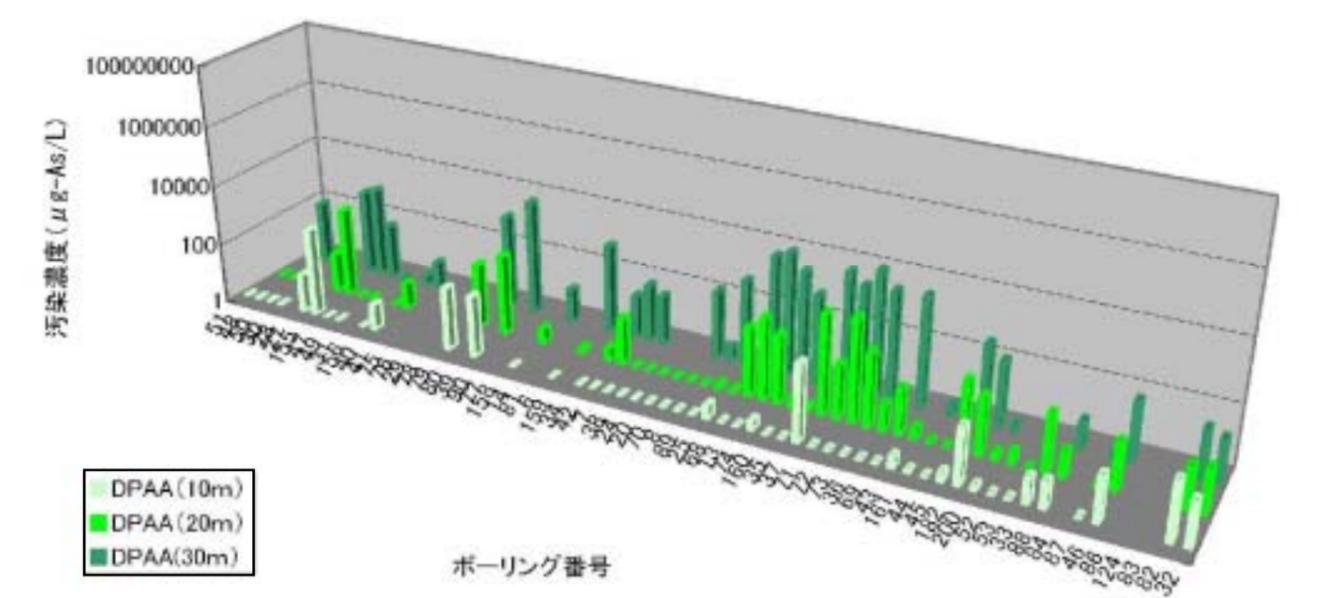
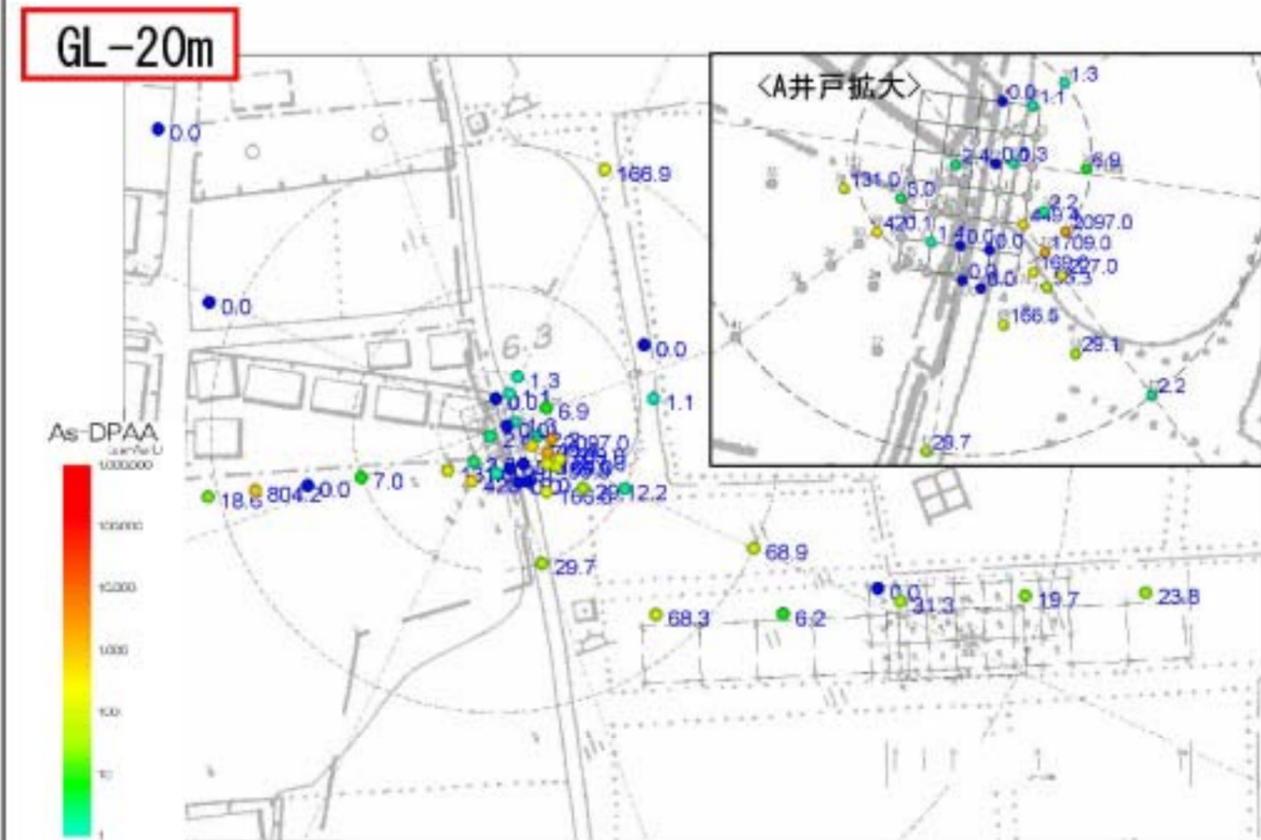
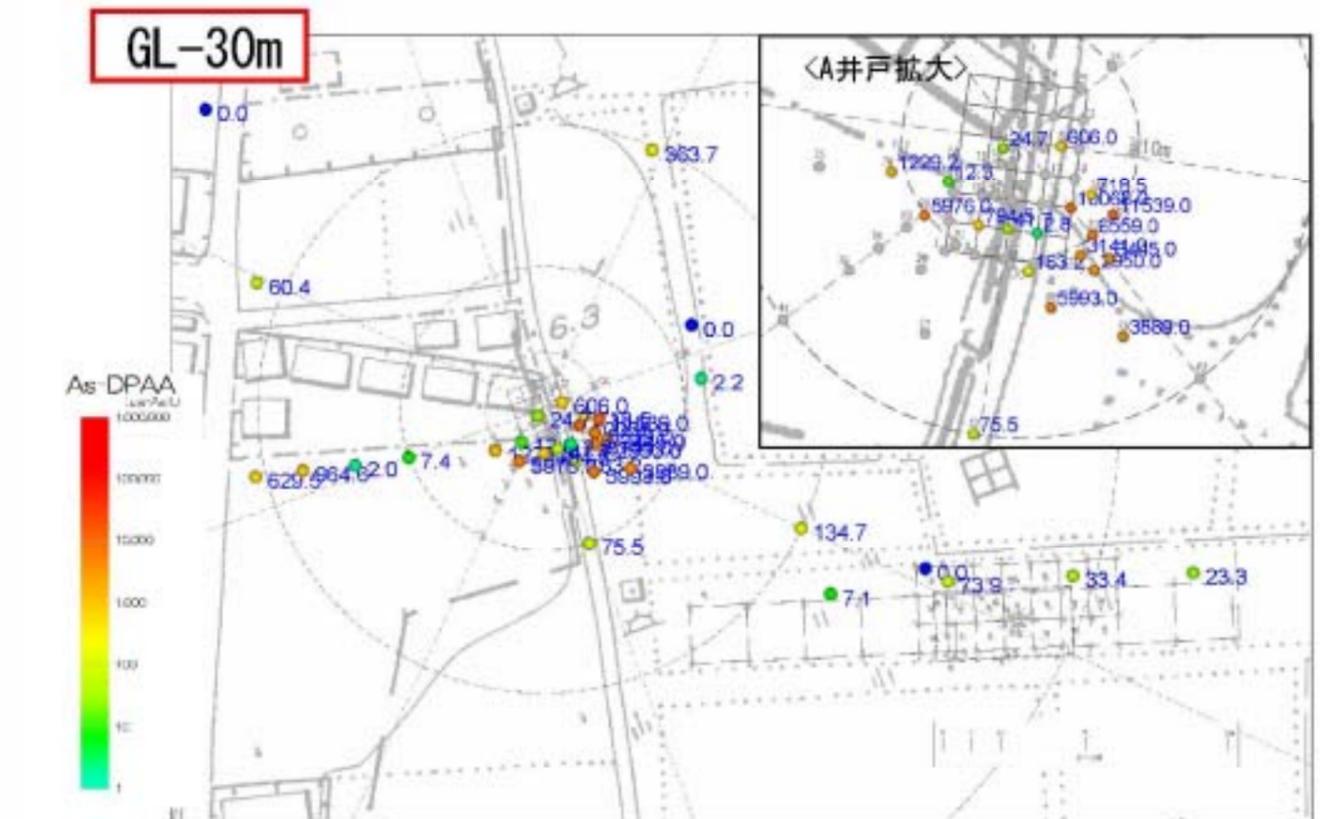
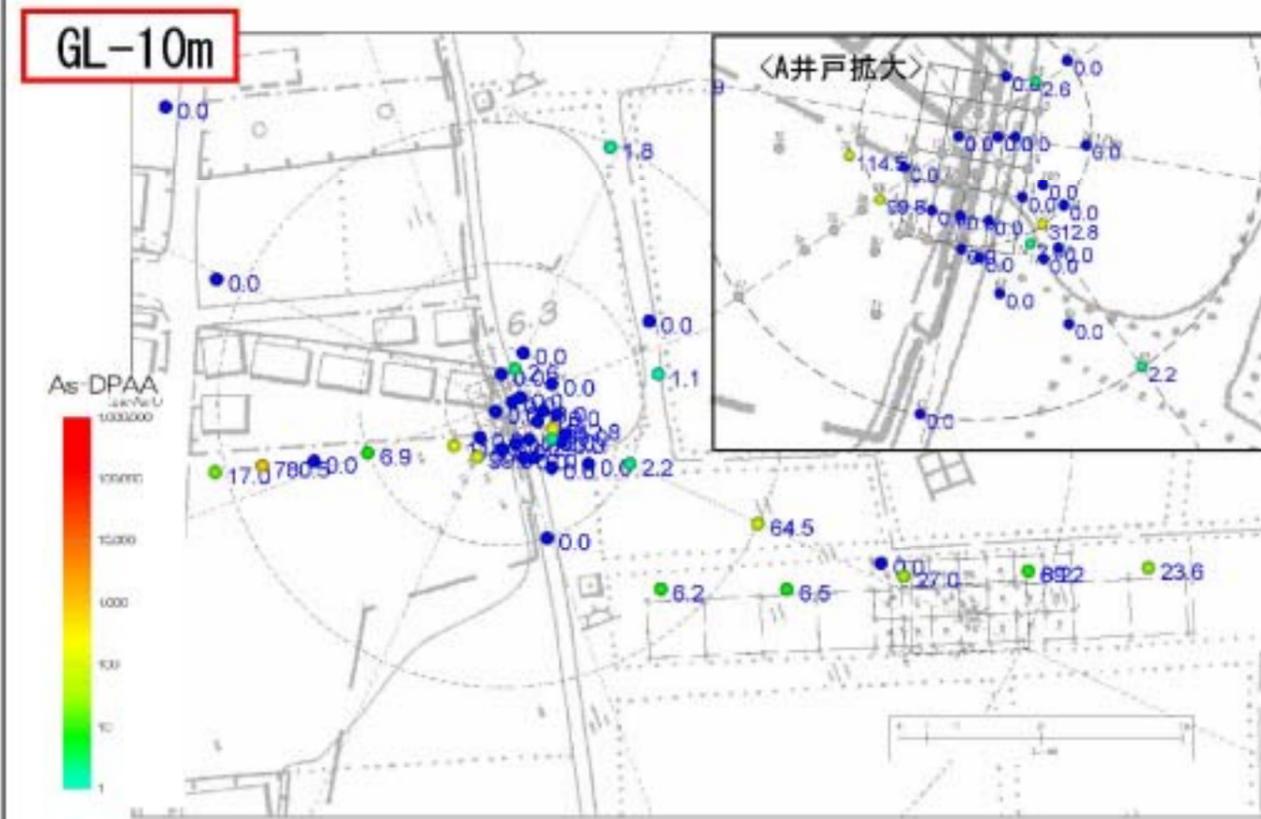


図3.4.9 2005年冬季(2~3月)B地区地下水DPAA汚染状況図

単位: $\mu\text{g-As/L}$

